

日本数学会教育委員会からの報告

【教育委員会】

日時：2021.9.14 12:00～13:30

場所：Zoom 開催

出席：16名

委員会開催後のメール等での議論を含め、議事の概要は以下のとおりである。

1. 新委員を含め自己紹介

新委員を含めた簡単な自己紹介が行われた。新担当理事として小園英雄委員（早大・東北大）、新委員として、河東泰之委員（東大）、宍倉光広委員（京大）、本田あおい委員（九工大）が加わり、新委員長に佐野隆志委員（山形大）、新副委員長に川添充委員（大阪府立大）、高倉樹委員（中央大）が継続して副委員長を担当することとなった。

2. 教育委員会内規について

数学会 HP で公開されている委員会内規を最新のものに替えることが、委員長より提案され了承された。

3. 2022 年度年会における教育委員会の活動について

委員長から、シンポジウム開催を目指したテーマがいくつか示され、議論の末、扱う内容としては、令和7年度大学入学者実施要項の予告に関し、2022年3月が入試約3年前にあたり、各大学の告知等の対応状況や新学習指導要領についての情報共有が、大学サイドにとって意義のあることであろうとの判断に至り、そのような内容での活動を行うことを委員会として了承した。実施方法としては、学会が対面開催の場合は対面での実施、オンライン開催の場合は Zoom 等による実施とすることと決定した。なお、開催形態としてシンポジウムの体裁を成さないことも考えられ、開催に向け委員長を中心にメール等により議論を進める予定である。情報説明者候補の一人として、委員長を予定し、司会是高倉副委員長が担当することとなった。

4. その他

3での活動テーマに関する議論の中で、数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する情報交換が行われた。令和3年度のリテラシーレベルの認定について委員長から資料が示され、リテラシーレベルのデータサイエンス教育の方向性に関しての鈴木寛

委員からの質問に対し、安野史子委員から Society 5.0 提言や GIGA スクール構想、教育 DX 化などの関連する事柄を含め情報提供があった。川添委員からはデータサイエンスモデルカリキュラムの応用基礎レベル認定の話題も提供された。伊藤由佳理委員から STEAM 教育の話題紹介があった。数理・データサイエンス・AI 教育における、数学の重要性は当然認めるものの、他分野に比べ現状での「弱さ」を是正したいという意識共有があった。また、鈴木委員から教育委員会での各委員の役割分担や運営の在り方について問題提起があった。

文責 教育委員会委員長 佐野隆志